

授業科目名 科目コード	中国語 I B (Chinese) 111010-14-000					担当教員	白 雪晴 (バイ ショエチン)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択必修	単位 数	2	配当年次	1 年次	開講期	通年
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
国際化を鑑み、隣国である中国の文化への理解と教養を養い、そのために、言語の基本を学ぶこととともに、中国への理解に努める。 中国語がどのような言語であるのか、発音の基礎、簡単な決まり文句、挨拶などの日常会話、自己紹介などを学ぶ。また、動詞、目的語や時を表す名詞の位置などの基本的な語順についても学ぶ。具体的には、キレイな中国語の発音ができ、文章はピンインなくても読め、慣用句的な文法を理解したうえ、ある程度の長い文章が書けるようになる。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
隣国を理解することによって、日本の地域社会に貢献できる人材を目指す。 コミュニケーション能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
講師の発音指導、説明を主とし、CD も毎回聞き補充手段にする。板書、配布印刷物、視聴覚メディア等を活用する。中国語が話せるため、試行錯誤をしていく。提出物、作文の作成練習もある。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
なし									
⑤ テキスト（教科書）									
楊凱栄、張麗群（2015）『LOVE！上海 初級中国語（第1版）』朝日出版									
⑥ 参考図書・指定図書									
教材についている CD を、繰り返し聞き、復習をすることが一番肝心。月刊誌「人民中国」などを参考として読むことが望ましい。ニュースでの中国に関する内容に注目してほしい。									
⑦ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安									
(i) 学生が文法を大抵把握でき、文章訳も通じる程度に達す。 (ii) 学生が中国語の順番をほとんどわかる。漢字も正確に書ける。 (iii) 学生が、ピンインをほぼ読める。									

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i)	学生が文法を把握でき、日中、中日翻訳とでもできる。	学生が文法を大抵把握でき、文章訳も通じる程度に達す。	学生が文法の60%を覚え、文章の半分以上訳せる。	学生が文法を半分程度に覚え、翻訳能力は50%に達する。	学生が文法への把握は半分以下。
(ii)	学生が、中国語と日本語の違いを明確し、文章の順番を正確にわかる。	学生が中国語の順番をほとんどわかる。漢字も正確に書ける。	学生が中国語の順番への把握はほぼできる。	学生が中国語の順番の肝心な部分がわかる。	学生が中国語の順番の正確さは、半分以下。
(iii)	学生が、発音記号のピンインを正確に発音ができる。	学生が、ピンインをほぼ読める。	学生がピンインの発音の正確さは80%。	学生が、ピンインの半分以上は発音ができる。	学生が、自分で発音ができる場合は50%以下。

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	20%				30%		100%
(i) 正確的に読む	20%	10%				10%		40%
(ii) しっかり書く	20%	10%				10%		40%
(iii) 小作文を書く	10%					10%		20%
フィードバックの方法	提出物は添削して返却し、解説の時間も設ける。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
小テストを増やし、常に自分の勉強状況を把握できるようにする。 小作文の練習時間を設け、繰り返し練習することによって、中国語を自分のものにする。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	中国という国、中国語の特徴、発音記号のピンインを紹介する、声調、単母音を覚える。学生の名前の中国語読みの練習。	授業内容を復習	120 分

2	子音、複母音の一部、中国のメーデー、練習問題	CD で授業内容の復習	120 分
3	複母音の一部、ピンインの表の発音練習、中国の「6・1 児童節」、練習問題	CD で授業内容の復習、提出物を確認	120 分
4	ピンインの表の発音練習、第 1 課「吗」疑問文を中心とする、「7・1 中国の共産党の誕生日」、練習問題	CD で授業内容の復習、提出物を確認	140 分
5	ピンインの表の発音練習、第 2 課疑問詞疑問文を中心とする、中国の「端午の節句」、練習問題	CD で授業内容の復習、ネットで中国に関する検索	140 分
6	ピンイン一覧表の発音練習、第 3 課動詞の「在」及び量詞、中国に関するコロナ事情、練習問題	CD で授業内容の復習、ネットで中国に関する検索	160 分
7	小テスト、ピンインの表の発音練習、第 4 課動詞の「有」及び家族の言い方、講師の故郷紹介、練習問題	中国語の入力練習	160 分
8	ピンイン一覧表の発音練習、第 5 課副詞の「不」「都」を中心とし、中国の今の出来事、練習問題	CD で授業内容の復習、中国語での入力の確認と練習	180 分
9	第 6 課形容詞述語文を中心とし、中国の「9・10 教師の日」、練習問題	CD で授業内容の復習、中国に関する現状へのネット検索	180 分
10	第 7 課正反疑問文及び名詞述語文、「10・1 国慶節」、練習問題	くり返し中国語での入力練習	180 分
11	小テスト、第 8 課副詞の「不」「都」を中心とし、「旧暦の祝日と新暦の祝日」、練習問題	CD で授業内容の復習、中国の流行語へのネット検索	200 分
12	第 9 課副詞の「还」及び連動文、中国の若者の生活、小作文	CD で授業内容の復習、中国の若者文化へのネット検索	200 分
13	中国語映画『初恋にきた道』	映画で聞き取れた単語の整理	120 分
14	第 10 課助動詞「会」及び主題文など、中国の「11・11 独身の日」、練習問題	CD で授業内容の復習	120 分
15	試験対策	各自復習	240 分
16	復習課、1～10 課のまとめ、中国のクリスマス、練習問題	各自の復習	120 分
17	第 11 課副詞の「有点儿」及び前置詞の「离」、「3・8 婦女の日」、練習問題	CD で授業内容の復習、各自中国について関心の課題にネット調べ。	120 分
18	第 12 課存現文、比較する表現、中国人はなぜギョウザを食べるのか、練習問題	CD での復習、各自中国について関心の課題にネット調べ	140 分
19	第 13 課値段の言い方及び副詞の「再」、中国の一人っ子政策とその後、練習問題	CD で授業内容の復習	140 分

20	小テスト、第 14 課結果補語、副詞の「才」「就」、練習問題	CD での復習	160 分
21	第 15 課方向補語及び離合詞、中国で人気の職業、練習問題	CD での復習	160 分
22	第 14 課と第 15 課の復習とまとめ、動詞の補語についてもう一度考える、小作文	提出物をまとめる	180 分
23	第 16 課主述述語文、二重目的語、京劇の話し、練習問題	CD での復習、教材に出た中国のことについて調べる	180 分
24	第 16 課主述述語文、二重目的語、京劇の話し、練習問題	CD での復習、補語について各自で調べる。	200 分
25	第 17 課方向補語その二、兼語文、中国での日本料理	補語について各自で調べる。	200 分
26	小テスト、第 18 課前置詞「跟」、接続詞「而」、小作文	各自復習	220 分
27	中国映画『あの子を探して』	映画で聞き取れた中国語の整理	120 分
28	映画の続きを見る、中国の教育事情、映画事情など	各自の復習、試験への準備	120 分
29	第 19 課様態補語を中心とする、中国の「春節」、大量の練習問題	CD での復習、練習問題を確認や整理	200 分
30	試験対策	試験への準備	240 分

⑫ アクティブラーニングについて

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性